



OASIS Web-EDI 自動送受信パック

ソフトウェア説明書

第 3.0 版



株式会社 オアシス

目次

1. 『自動送受信パック』の概要	1
2. インストール手順	2
3. 画面操作方法		
3-1. メニュー	4
3-2. 監視情報設定	6
3-3. 自動送受信スケジュール設定	8
3-4. 自動送受信処理	11
3-5. 手動送受信処理	13
3-6. 送受信状況照会	15
4. コマンド起動方法（リアルタイム送受信）		
4-1. 起動コマンド	17
4-2. 引数	17
4-3. 戻り値	18
【 参考 】 自動送受信パック起動用バッチコマンド（サンプル）	19
5. コマンド起動方法（タイマー送受信）	20
6. お問い合わせ先	21

1. 『自動送受信パック』の概要

本ソフトウェアは、オアシス新物流情報システム（以下、OASIS Web-EDI）との間で EDI データの送受信を行うためのソフトウェアです。

1-1. 機能

(1) タイマー起動送受信機能

OASIS Web-EDI にログインするためのユーザ情報や送受信ファイルの格納場所、および送受信時刻など、事前に以下の情報を設定しておくことにより、設定された内容に従って自動的に送受信を行います。

【 設定が必要な情報 】

設定情報	設定内容
ユーザ情報	ユーザ ID やパスワードなど、OASIS Web-EDI にログインするための情報を設定します。
送受信ファイル情報	送受信を行うデータの種類や送受信ファイルの格納場所を設定します。 また、送受信完了後に、連動して実行する処理を登録することができます。
スケジュール情報	タイマー起動送受信を行うスケジュール(実行日と実行時刻)、 及びスケジュールの監視間隔を設定します。
その他	インターネット接続エラーが発生した際のリトライ回数／リトライ間隔を設定します。

(2) リアルタイム送受信機能

送受信処理をリアルタイムに実行することができます。

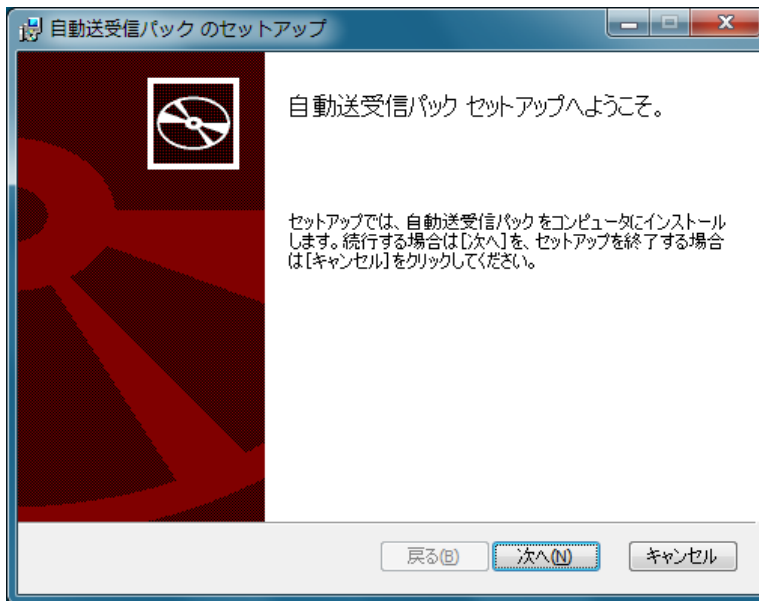
なお、事前に上記の【設定が必要な情報】のうち、『スケジュール情報』以外を設定しておく必要があります。

1-2. 動作環境

OS	Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1/ Windows10 (その他の OS については、動作確認未実施)
ハードディスク	自動送受信パックのアプリケーションのサイズ : 2MB ※ 自動送受信パックのインストールフォルダ内に処理結果を保存するためのログファイルが自動的に作成され、処理結果が日々蓄積されることにより、ログファイルのサイズも大きくなっていきますので、ご注意下さい。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> インストールフォルダ(初期値は『C:\¥YSK¥自動送受信パック』)に作成される『L_ProcessLog_yyyymmdd.txt』(yyyymmdd は日付を表します)がそのログファイルであり、異常が発生した際の調査用資料として使用します。 特に異常が無い限り、過去のログファイルについては削除可能です。 </div>
その他	Java Runtime Environment (JRE) 1.7 以降 が必要となります。 ※ 他のソフトの導入等により、すでにインストールされている場合があります。 本ソフトウェアが動作しない場合のみインストールが必要となりますが、Oracle 社のホームページより無償でダウンロードすることができます。 https://java.com/download/ ダウンロード・インストールの手順につきましては、別途お問合せ下さい。

2. インストール手順

- ① 自動送受信パックのインストール CD を CD-ROM ドライブにセットし、インストール CD 内のセットアッププログラム（※自動送受信パック※setup.exe）を起動します。
- ② セットアッププログラムが起動すると、以下の画面が表示されますので、【次へ】をクリックして下さい。



Java ランタイムエラーについて

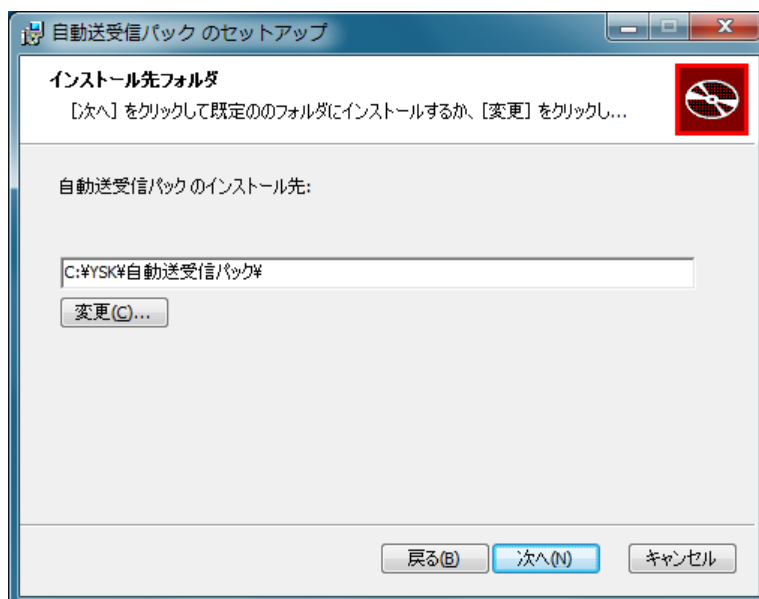
Java ランタイムがインストールされていない場合、もしくはバージョンが古い場合、起動時に下記画面が表示されます。Oracle 社のサイトより Java ランタイムをダウンロードし、インストールを行ってから再度実行して下さい。

【入手先】

<https://java.com/download/>



- ③ 『インストール先フォルダ』画面が表示されます。初期表示された内容で問題ない場合は、そのまま【次へ】をクリックして下さい。

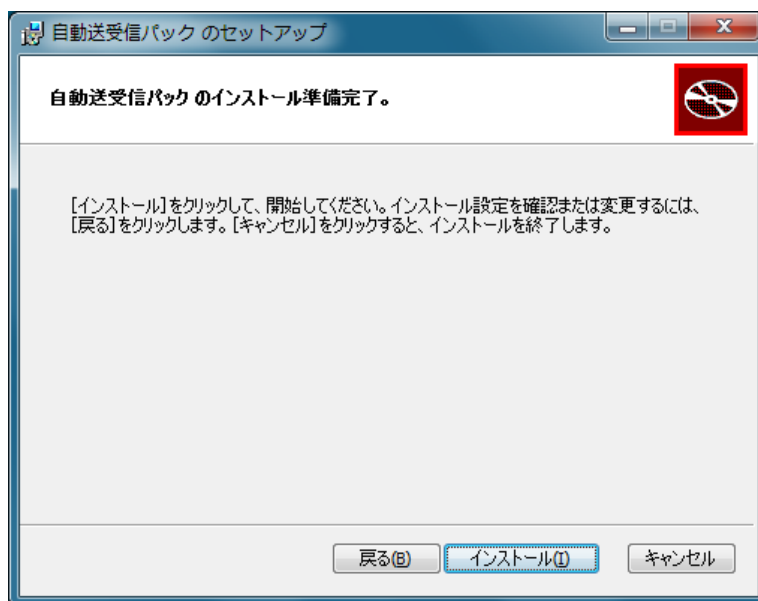


- ※ インストールフォルダ、及び利用ユーザは、任意に変更しても構いません。
インストールフォルダを変更する場合は、【変更】ボタンをクリックして表示される『インストール先フォルダの変更』画面からフォルダを選択するか、入力欄にインストール先のフォルダをフルパスで直接入力して下さい。

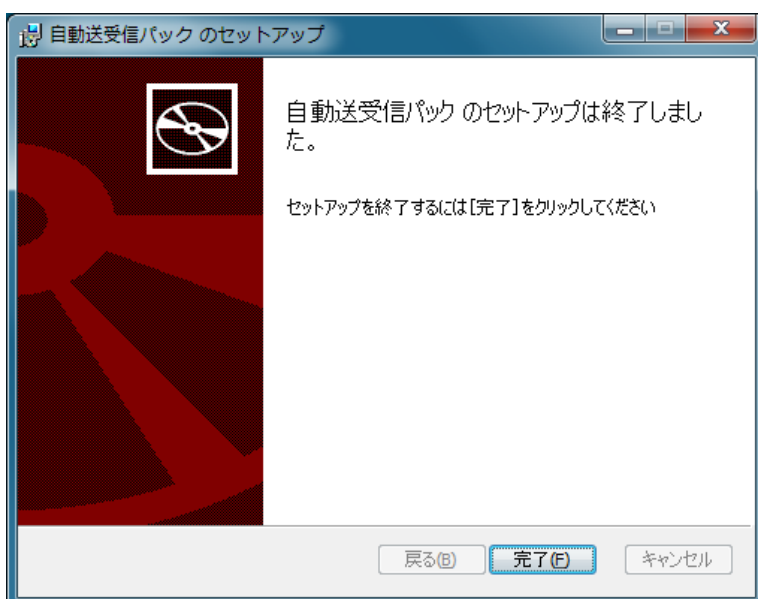
ただし、下記フォルダの配下は選択しないで下さい。（設定の保存・ログの出力が行えません）

C:\Program Files¥
C:\Program Files (x86)¥
C:\ProgramData
C:\Windows

- ④ 『インストール準備完了』画面が表示されたら、【インストール】をクリックして下さい。インストールが開始されます。



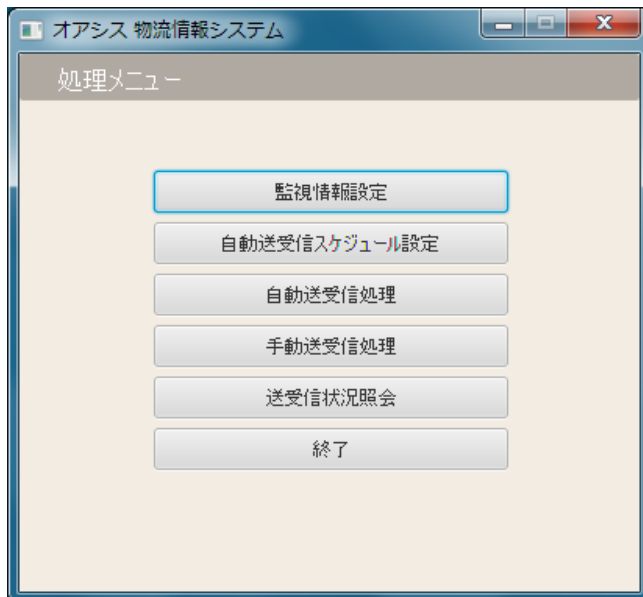
- ⑤ インストールが完了すると、以下の画面が表示されますので、【完了】ボタンをクリックして画面を閉じて下さい。



- ※ インストール完了後に、パソコンを再起動する必要はありません。

3. 画面操作方法

3-1. メニュー



(1) 機能

自動送受信パックを起動すると、上記のメニュー画面が表示されますので、以下のメニューボタンの動作を確認し、各処理を実行して下さい。

(2) メニュー選択

メニューボタン	動作
監視情報設定	【監視情報設定】画面を表示します。
自動送受信スケジュール設定	【自動送受信スケジュール設定】画面を表示します。
自動送受信処理	【送受信状況】画面を表示し、タイマー起動送受信を行うためのタイマー監視を開始します。
手動送受信処理	【手動送受信処理】画面を表示します。
送受信状況照会	【送受信状況照会】画面を表示します。
終了	本画面を閉じ、自動送受信パックを終了させます。

(3) 留意事項

- ① メニューボタンは、監視情報などの設定状況に応じて、選択可能か否かが自動的に制御されます。

メニューボタン	選択可能となる条件
監視情報設定	随時選択可能です。
自動送受信スケジュール設定	監視情報の設定が完了するまで、選択可能となりません。
自動送受信処理	【自動送受信スケジュール設定】画面にて、タイマー起動送受信を行うための送受信スケジュールが登録されるまで、選択可能となりません。
手動送受信処理	【自動送受信スケジュール設定】画面にて、送受信を行うためのユーザ情報や送受信ファイル情報(送受信スケジュール以外)が登録されるまで、選択可能となりません。

(続き)

メニューボタン	選択可能となる条件
送受信状況照会	照会できるデータが作成されるまで(送受信処理が行われ、処理結果のログファイルが作成されるまで)選択可能となりません。

- ② 自動送受信パックの起動方法に応じて、本画面が表示されるか否かが自動的に制御されます。

起動方法	表示制御
通常起動	[スタート]→[すべてのプログラム]→[自動送受信パック]を選択して起動した場合、本画面が表示されます。
コマンド起動 (タイマー送受信)	起動時に一瞬表示されますが、すぐに【送受信状況】画面を表示し、自動的にタイマー送受信処理が開始されます。 【送受信状況】画面を(手動で)閉じると、本画面が表示されますので、自動送受信パックを終了させる場合は、【終了】ボタンをクリックし、自動送受信パックを終了させて下さい。
コマンド起動 (リアルタイム送受信)	起動時に本画面をスルーして直接【送受信状況】画面を表示し、自動的にリアルタイム送受信処理を開始するため、本画面は表示されません。 また、リアルタイム送受信処理が完了すると、自動的に【送受信状況】画面も閉じられます。

3-2. 監視情報設定

オアシス 物流情報システム

監視情報設定

保存(S) 閉じる(X)

スケジュール監視間隔(秒:1以上) * 180

接続エラー時のリトライ回数(0以上) * 10

接続エラー時のリトライ間隔(秒:0以上) * 30

接続待機時間(秒:100以上) * 300

項目名の後に*がある場合は入力必須です。

(1) 機能

自動送受信パックが、処理を行う上で必要となる共通情報を設定します。

(2) 設定項目

項目名	必須	設定内容
スケジュール監視間隔 (秒:1 以上)	○	タイマー起動送受信時に送受信スケジュールをチェックする処理の 処理間隔を秒単位で設定します。 初期値は 180 秒(3 分)です。
接続エラー時のリトライ回数 (0 以上)	○	インターネット接続エラーが発生した際に、自動的に再接続を行う 回数を設定します。 初期値は 10 回です。
接続エラー時のリトライ間隔 (秒:0 以上)	○	インターネット接続エラーが発生した際に、自動的に再接続を行う までの間隔を秒単位で設定します。 初期値は 30 秒です。
接続待機時間 (秒:100 以上)	○	送受信を開始した後、送受信が完了するまでの待機時間を 設定します。(次ページの解説をご参照下さい) 初期値は 300 秒です。

【 解説 】 接続待機時間とは

OASIS Web-EDI では、送信したデータはリアルタイムに OASIS Web-EDI 側のデータベースに登録されます。（同様に、受信する場合も受信を開始した時点でリアルタイムに受信用ファイルが作成されます）

そのため、送受信を開始した後、処理結果（送信時はデータベースへの登録結果、受信時は作成された受信用ファイル）を OASIS Web-EDI 側から受け取るまで待つ必要があります。

接続待機時間とは、この『**処理結果を受け取るまでどれだけ待つか**』を設定するものです。

【 注意 】

OASIS Web-EDI 側の処理が完了するまでの時間は、送受信を行うデータ件数などに応じて変動しますので、接続待機時間を設定する際は、自社の運用環境に合わせて設定するようにして下さい。

- ・接続待機時間が長すぎると、インターネット上で何らかの障害が発生して処理結果が受け取れない状態になっても、延々と待ち続ける結果となってしまいます。
- ・接続待機時間が短すぎると、OASIS Web-EDI 側の処理が完了する前に接続待機時間オーバーとなってしまう可能性があります。

(3) 操作方法

- ・入力した情報を保存する場合は、【保存】ボタンをクリックして下さい。
〔 再確認を行うメッセージが表示されますので、そのまま保存する場合は【OK】ボタンをクリックして下さい。
保存しない場合は、【キャンセル】ボタンをクリックすると、入力画面に戻ります。 〕
- ・本画面を終了させる場合は、【終了】ボタンをクリックして下さい。

3-3. 自動送受信スケジュール設定

(1) 機能

OASIS Web-EDI サーバとの間で EDI データを送受信するための情報を設定します。

設定する情報は、以下の 2 つに分類されます。

- ・送受信ファイル定義 → ユーザ情報、及び送受信ファイルと連動プログラムの格納場所を設定します。
※ タイマー起動送受信を行わない(すなわちリアルタイム送受信の場合)、この定義に属する設定項目を設定しておけば、送受信処理を実行することができます。
- ・送受信スケジュール定義 → 送受信スケジュールの実行日と実行時刻を設定します。
※ この定義に属する設定項目が設定されていない場合、タイマー起動送受信処理を実行することはできません。

(2) 設定項目

項目名	必須	設定内容
【送受信ファイル定義】		
EDI グループ	○	ドロップダウンリストより、送受信の相手先を選択して下さい。
送受信区分	○	ドロップダウンリストより、[送信][受信]のいずれかを選択して下さい。
データ種別	○	ドロップダウンリストより、送受信を行うデータの種類を選択して下さい。
ユーザ ID	○	自社のユーザ ID を入力して下さい。
送受信ファイル名	○	送受信を行うファイルを フルパス で入力して下さい。 【参照】ボタンを使用して、【送受信ファイル選択】画面より送受信ファイルを選択することもできます。 ※ 【参照】ボタンを使用して入力を行った際、ディレクトリ名に空白(スペース)が含まれている場合は、自動的にダブルクォーテーション(")が前後に付加されて表示されます。(直接入力を行った場合は、保存時に付加されます)

(続き)

項目名	必須	設定内容
連動プログラム (正常終了時)		送受信が正常終了した後に、連動して実行させたい処理を登録します。 実行形式のファイルのファイル名を フルパス で入力して下さい。 (引数を設定することも可能です。) 【参照】ボタンを使用して、【連動プログラム(正常終了時)選択】画面より選択することもできます。 ※ 【参照】ボタンを使用して入力を行った際、ディレクトリ名に空白(スペース)が含まれている場合は、自動的にダブルクォーテーション(“)が前後に付加されて表示されます。 (直接入力を行った場合は、保存時に付加されます)
連動プログラム (異常終了時)		送受信が異常終了した際に、連動して実行させたい処理を登録します。 実行形式のファイルのファイル名を フルパス で入力して下さい。 (引数を設定することも可能です。) 【参照】ボタンを使用して、【連動プログラム(異常終了時)選択】画面より選択することもできます。 ※ 【参照】ボタンを使用して入力を行った際、ディレクトリ名に空白(スペース)が含まれている場合は、自動的にダブルクォーテーション(“)が前後に付加されて表示されます。 (直接入力を行った場合は、保存時に付加されます)
パスワード	○	上記の【ユーザ ID】のパスワードを設定して下さい。 入力した文字は、すべてアスタリスク(*)に置き換えられて表示されます。
【送受信スケジュール定義】		
有効区分	○	その行に設定されたタイマー起動送受信処理の実行スケジュールが、有効であるのか無効であるのかを設定します。 ドロップダウンリストより、[1:有効]、[0:無効]のいずれかを選択します。 [0:無効]が選択されている場合、実行日や開始時刻が設定されていても、その行の送受信スケジュールは実行されません。
実行日	○	タイマー起動送受信処理の実行スケジュールの実行間隔を設定します。 ドロップダウンリストより、[毎日]、[毎月(特定日)]、[特定曜日]のいずれかを選択します。
開始時刻 1	○	タイマー起動送受信処理を実行する時刻を設定します。
開始時刻 2~5		タイマー起動送受信処理を実行する時刻を設定します。 1日に5回以上、タイマー起動送受信処理を実行する場合は、複数行に分けて設定して下さい。

(3) 操作方法

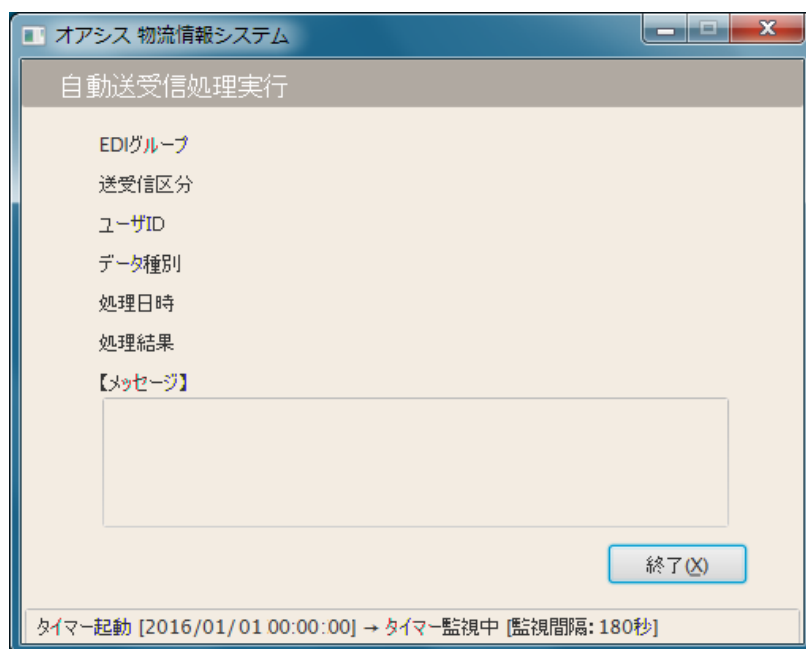
- ① 最初に、[登録][変更][削除]のいずれかを選択して下さい。
- ② 検索条件を入力し、【検索】ボタンをクリックして下さい。
 - ・ [登録]を選択した状態で、登録済のデータを検索した場合、『既に登録済です。』というエラーメッセージが表示されます。
 - ・ [変更]または[削除]を選択した状態で、未登録のデータを検索した場合、『登録されていません。』というエラーメッセージが表示されます。
- ③ 入力した内容(【送受信ファイル名】と【パスワード】)がOASIS Web-EDI サーバのマスターに登録されている内容と合っているかを確認したい場合は、【接続テスト】ボタンをクリックして下さい。
合っていない場合は、エラーメッセージが表示されます。(合っていないと保存できません。)
- ④ 入力した内容を保存する場合は、【保存】ボタンをクリックして下さい。
(入力した内容をすべて取り消したい場合は、【キャンセル】ボタンをクリックして下さい。)

- ⑤ 本画面を終了させる場合は、【終了】ボタンをクリックして下さい。

(4) 留意事項

- ① 設定に必要なマスター関連情報は OASIS Web-EDI サーバ側にあり、画面を開く際にそれらの情報を OASIS Web-EDI サーバからダウンロードする処理が実行されるため、画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ② コマンド起動によるリアルタイム送受信しか行わない場合は、[送受信スケジュール定義]は設定しないで下さい。（想定外の送受信処理が実行される可能性があります。）

3-4. 自動送受信処理



(1) 機能

自動送受信処理を起動すると本画面(【送受信状況】画面)が表示され、送受信処理の状況が表示されます。

(2) 表示項目

項目名	表示内容
EDI グループ	送受信の相手先の名称が表示されます。 送受信処理が異常終了し、EDI グループの名称を OASIS Web-EDI サーバから取得できなかった場合は、EDI グループのコードが表示されます。
送受信区分	[送信][受信]のいずれかが表示されます。 送受信処理が異常終了し、送受信区分の名称を OASIS Web-EDI サーバから取得できなかった場合は、送受信区分のコードが表示されます。
ユーザ ID	OASIS Web-EDI サーバにログインする際に使用したユーザ ID が表示されます。
データ種別	送受信したファイルのデータ種別の名称が表示されます。 送受信処理が異常終了し、データ種別の名称を OASIS Web-EDI サーバから取得できなかった場合は、データ種別のコードが表示されます。
処理日時	送受信処理の開始日時が表示されます。
処理結果	送受信処理が正常終了した場合は[OK]、異常終了した場合は[NG]と表示されます。
【メッセージ】	送受信処理でエラーが発生した場合、エラーメッセージが表示されます。
ステータス (最下段)	タイマー監視の状態が表示されます。 タイマー監視処理、或いは送受信処理が異常終了し、タイマー監視を停止しなければならなくなった場合、[タイマー監視を停止しました]と表示され、処理が停止します。

(3) 操作方法

処理を終了する場合は、【終了】ボタンをクリックして下さい。

(不用意に処理を終了させることを防止するために)確認メッセージが表示されますので、終了させる場合は【OK】ボタンをクリックして下さい。(【キャンセル】ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。)

(4) 留意事項

- ① 画面を閉じる際は、必ず【終了】ボタンをクリックして下さい。
画面右上の【X】ボタンをクリックした場合は、確認画面が表示されず、直ちに画面が閉じます。
- ② コマンド起動(リアルタイム送信)で起動された場合、本画面は最小化表示され、また処理が終了すると、自動的に閉じます。

3-5. 手動送受信処理

オアシス 物流情報システム

手動送受信処理

処理起動(S) キャンセル(C) 閉じる(X)

検索条件

EDIグループ * 送受信区分 * データ種別 * ユーザID * 検索

送受信ファイル名 *

参照

連動プログラム

正常終了時 参照

異常終了時 参照

項目名の後に *がある場合は入力必須です。

(1) 機能

【自動送受信スケジュール設定】画面で設定した情報のうち、送受信を行う上で必要となる情報(送受信ファイル定義のみ)を抽出し、リアルタイム送受信処理を実行します。

(2) 入力項目

項目名	必須	設定内容
EDI グループ	○	ドロップダウンリストより、送受信の相手先を選択して下さい。
送受信区分	○	ドロップダウンリストより、[送信][受信]のいずれかを選択して下さい。
データ種別	○	ドロップダウンリストより、送受信を行うデータの種類を選択して下さい。
ユーザ ID	○	自社のユーザ ID を入力して下さい。

(3) 表示項目（変更可）

項目名	必須	表示／設定内容
送受信ファイル名	○	検索結果が表示されます。 設定を変更する場合は、 フルパス で入力して下さい。 【参照】ボタンを使用して、【送受信ファイル選択】画面より送受信ファイルを選択することもできます。 ※ 【参照】ボタンを使用して入力を行った際、ディレクトリ名に空白（スペース）が含まれている場合は、自動的にダブルクォーテーション(“)が前後に付加されて表示されます。 (直接入力を行った場合は、保存時に付加されます)

(続き)

項目名	必須	表示／設定内容
連動プログラム (正常終了時)		<p>検索結果が表示されます。</p> <p>設定を変更する場合は、実行形式のファイルのファイル名をフルパスで入力して下さい。(引数を設定することも可能です)</p> <p>【参照】ボタンを使用して、【連動プログラム(正常終了時)】画面よりファイルを選択することもできます。</p> <p>※ 【参照】ボタンを使用して入力を行った際、ディレクトリ名に空白(スペース)が含まれている場合は、自動的にダブルクォーテーション(“)が前後に付加されて表示されます。(直接入力を行った場合は、保存時に付加されます)</p>
連動プログラム (異常終了時)		<p>検索結果が表示されます。</p> <p>設定を変更する場合は、実行形式のファイルのファイル名をフルパスで入力して下さい。(引数を設定することも可能です)</p> <p>【参照】ボタンを使用して、【連動プログラム(異常終了時)】画面よりファイルを選択することもできます。</p> <p>※ 【参照】ボタンを使用して入力を行った際、ディレクトリ名に空白(スペース)が含まれている場合は、自動的にダブルクォーテーション(“)が前後に付加されて表示されます。(直接入力を行った場合は、保存時に付加されます)</p>

(4) 操作方法

- ① 検索条件を入力し、【検索】ボタンをクリックして下さい。
- ② 表示された内容を確認し(必要に応じて設定変更を行い)、【処理起動】ボタンをクリックして下さい。
(『3-4. 自動送受信処理』の画面が表示され、送受信処理が開始されます。)
- ③ 送受信処理が終了すると、『3-4. 自動送受信処理』の画面が自動的に閉じ、本画面に戻ります。
- ④ 本画面を終了させる場合は、【終了】ボタンをクリックして下さい。

(5) 留意事項

本画面で設定を変更しても、その情報は保存されません。

3-6. 送受信状況照会

(1) 機能

入力された検索条件に該当する送受信処理結果を表示します。

(2) 入力項目（検索条件）

項目名	必須	設定内容
EDI グループ	○	ドロップダウンリストより、照会する相手先を選択して下さい。
送受信区分	○	ドロップダウンリストより、[送信][受信]のいずれかを選択して下さい。
データ種別	○	ドロップダウンリストより、照会するデータの種別を選択して下さい。
ユーザ ID	○	自社のユーザ ID を入力して下さい。
送受信日		照会するデータの送受信日時を入力して下さい。

(3) 表示項目

項目名	表示内容
開始日時	送受信処理の開始日時が表示されます。
終了日時	送受信処理の終了日時が表示されます。
処理件数	送受信処理件数が表示されます。
処理結果	送受信処理の処理結果が表示されます。 (エラーが発生した場合のみ[ERR]と表示されます。)
エラーメッセージ	処理結果が[ERR]の場合、エラーの内容や原因が表示されます。

(4) 操作方法

- ① 検索条件を入力し、【検索】ボタンをクリックして下さい。
- ② 検索条件を変えて再検索する場合は、検索条件を変更し、そのまま【検索】ボタンをクリックして下さい。
(一度、画面を閉じたりする必要はありません。)
- ③ 本画面を終了させる場合は、【終了】ボタンをクリックして下さい。

(5) 留意事項

本画面を表示し、最初に【検索】ボタンが押された時点で、処理結果を格納しているログファイルからデータをすべて読み込む処理が実行されます。
よって、(ログファイル内のデータ件数に比例して)最初の検索処理に時間がかかる場合がありますので、ご注意下さい。

4. コマンド起動（リアルタイム送受信）

コマンド起動でリアルタイム送受信を行う場合は、以下の形式で自動送受信パックを起動して下さい。

4-1. 起動コマンド

引数
`%インストールフォルダ% ¥AutoSndRcv. exe /S ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦`

注 1) 上記の _ 印は、空白（1 バイトのスペース）を表わしています。 ※ 以下の表記でも使用

注 2) インストール時のインストールフォルダの初期値は、『C:¥YSK¥自動送受信パック』です。

4-2. 引数

	設定項目	必須	設定内容
①	EDI グループコード	○	『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値を参照して設定して下さい。
②	送受信区分	○	『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値を参照して設定して下さい。
③	データ種別	○	『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値を参照して設定して下さい。
④	ユーザ ID	○	『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値を参照して設定して下さい。
⑤	送受信ファイル名		<p>送受信ファイル名をフルパスで設定して下さい。 [『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値と異なる場合は、引数の方を優先します。]</p> <p>『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値をそのまま使用する場合は ""（ダブルクォート 2 つ）を設定して下さい。 ※連動プログラム（正常終了時）或いは連動プログラム（異常終了時）を設定する必要がある場合のみであり、いずれも設定する必要がない場合は、省略可能です。</p>
⑥	連動プログラム（正常終了時）		<p>連動プログラム（正常終了時）をフルパスで設定して下さい。 [『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値と異なる場合は、引数の方を優先します。]</p> <p>『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値をそのまま使用する場合は ""（ダブルクォート 2 つ）を設定して下さい。 ※連動プログラム（異常終了時）を設定する必要がある場合のみであり、連動プログラム（異常終了時）を設定する必要がない場合は、省略可能です。</p> <p>『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値を無視して何も実行しない場合は Non と設定して下さい。</p>
⑦	連動プログラム（異常終了時）		<p>連動プログラム（異常終了時）をフルパスで設定して下さい。 [『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値と異なる場合は、引数の方を優先します。]</p> <p>『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値をそのまま使用する場合は、省略可能です。</p> <p>『自動送受信スケジュール設定』画面で設定した値を無視して何も実行しない場合は Non と設定して下さい。</p>

【 注意事項 】

- 1) ディレクトリ名に空白（スペース）が含まれる場合
 ≪ 『送受信ファイル名』『連動プログラム(正常終了時)』『連動プログラム(異常終了時)』 共通 ≫

ディレクトリ名に空白（スペース）が含まれている場合は、全体をダブルクォーテーション(“)で囲む必要があります。

例) 『送受信ファイル名』として、『デスクトップ』にある『Send File.txt』を指定する場合

“C:¥Users¥Oasis¥Desktop¥Send File.txt” と設定して下さい。

- 2) 連動プログラムに引数を設定する場合
 ≪ 『連動プログラム(正常終了時)』『連動プログラム(異常終了時)』 共通 ≫

連動プログラムに引数を設定する場合は、「連動プログラムのパスと引数」全体をダブルクォーテーション(“)で囲む必要があります。

例) 『C:¥Program¥NormalEnd.bat』に引数『Parm1』と『Parm2』を指定する場合

“C:¥Program¥NormalEnd.bat Parm1 Parm2” と設定して下さい。

- 3) ディレクトリ名に空白（スペース）が含まれる連動プログラムに引数を設定する場合

設定できません。（ディレクトリ名に含まれる空白と、プログラム名と引数の間の空白を判別できないため）
 空白が含まれていないディレクトリに連動プログラムを移動する等の対策を実施して下さい。

4-3. 戻り値

戻り値	エラー名称	エラーの内容、及び対処方法
1	起動モード指定ミス	起動コマンドの先頭の引数（起動モード）に /S（または /s）以外の値が設定されています。 起動コマンドを修正して、再実行して下さい。
2	二重起動エラー	既に自動送受信パックが起動されています。 起動済の自動送受信パックを終了させた後、再実行して下さい。
3	設定情報取得エラー	【自動送受信スケジュール設定】画面などで設定された値（インストールフォルダ内のテキストファイルに保存）が取得できず、処理を実行することができませんでした。 設定値を格納したテキストファイルがインストールフォルダ内に存在するか確認して下さい。 【設定値を格納しているテキストファイル】 ・M_Connect.txt …… 監視定義情報 ・M_SndRcvFile.txt …… 送受信ファイル情報 ・M_AutoSchedule.txt …… 送受信スケジュール情報
4	引数エラー	起動コマンドの引数の数、または設定内容が正しくありません。 起動コマンドを修正して、再実行して下さい。
5	送受信エラー	送受信処理においてエラーが発生し、OASIS Web-EDI サーバとの間でファイル送受信が行えませんでした。 【送受信状況照会】画面でエラーの発生原因を確認し、ご連絡下さい。

【 参考 】 自動送受信パック起動用バッチコマンド（サンプル）

例) 自動送受信パックを起動し、エラーが発生した場合は C ドライブ直下のテキストファイル(Log. txt)に戻り値に応じたエラーメッセージを出力します。

〔 送受信ファイル名は、【自動送受信スケジュール設定】画面の設定値を使用し、連動プログラムは 〕
〔 正常終了時と異常終了時のいずれも実行しません。 〕

```
REM *-----*
REM *   自動送受信パック   起動                               *
REM *-----*
```

```
"C:¥¥SK¥自動送受信パック¥ AutoSndRcv. exe" /S xx x xx xxxxxxxx "" Non Non
```

```
IF ERRORLEVEL 5 GOTO SndRcvErr
IF ERRORLEVEL 4 GOTO ParameterErr
IF ERRORLEVEL 3 GOTO DefFileErr
IF ERRORLEVEL 2 GOTO MultiExecErr
IF ERRORLEVEL 1 GOTO ExecModeErr
```

```
GOTO END
```

```
REM *-----*
REM *   エラー処理                               *
REM *-----*
```

```
:ExecModeErr
ECHO [Error] 起動モードの指定が間違っています。          >> C:¥Log. txt
GOTO END
```

```
:MultiExecErr
ECHO [Error] 二重起動することはできません。            >> C:¥Log. txt
GOTO END
```

```
:DefFileErr
ECHO [Error] 定義ファイルを参照することができませんでした。 >> C:¥Log. txt
GOTO END
```

```
:ParameterErr
ECHO [Error] コマンドライン引数が間違っています。        >> C:¥Log. txt
GOTO END
```

```
:SndRcvErr
ECHO [Error] 送受信処理で異常が発生しました。            >> C:¥Log. txt
GOTO END
```

```
:END
REM *-----*
REM *   自動送受信パック   終了                               *
REM *-----*
```

```
EXIT
```

5. コマンド起動（タイマー送受信）

コマンド起動でタイマー起動送受信を行う場合は、以下の形式で自動送受信パックを起動して下さい。

【 コマンド形式 】

%インストールフォルダ% ¥ AutoSndRcv. exe _ /T ※ 引数と戻り値はありません。

【 注意事項 】

本機能は、上記のコマンドをスタートアップ プログラムと登録しておき、パソコン起動時に自動的に送受信待ちの状態となることを目的として準備しているものです。

（メニュー操作で【自動送受信処理】ボタンをクリックしたのと全く同じ動作となります。）

よって、**【監視情報設定】、及び【自動送受信スケジュール設定】**を事前に行っていないと、自動送受信処理は**起動しません**ので、ご注意ください。

6. お問い合わせ先



株式会社 オアシス

福岡市中央区警固2-13-7 オークビル 6F

TEL:092-737-7033 FAX:092-736-3348